



外国文献紹介

小児救急医療の腸重積診断におけるポイント・オブ・ケア超音波について

Trigylidas TE et al : Pediatric emergency medicine point-of-care ultrasound for the diagnosis of intussusception. J Emerg Med 57 : 367-374, 2019

小児の腸重積症では、診断が遅れると、空気注腸による整復がうまくいかず、死に至る可能性がある。筆者らは、小児救急医療現場で腸重積症が疑われ、ポイント・オブ・ケア超音波（POCUS）検査が実施された小児 101 例について、後ろ向き調査を行い、POCUS 検査の回結腸腸重積診断における正確度などについて検討した。その結果、POCUS 検査の実施された 101 例中 75 例に実際に腸重積が存在し、72 例が POCUS 検査で腸重積と診断された。感度は 96%，特異度は 92.6%であった。空気注腸による整復の失敗例は、腸重積が脾彎曲よりも遠位である症例や 6 カ月未満の乳児に多い傾向がみられた。そして、小児救急医療の腸重積診断において、POCUS 検査は高い感度と特異度を示し、有用な検査法と考えられると述べている。

瀬戸一彦